

経営比較分析表（令和元年度決算）

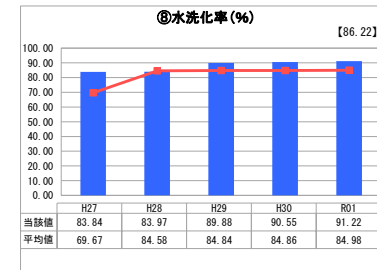
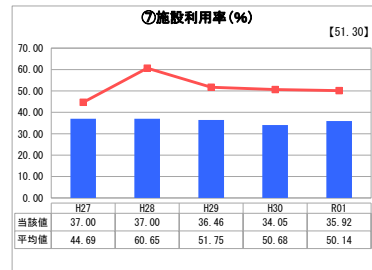
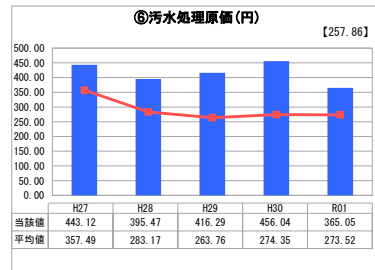
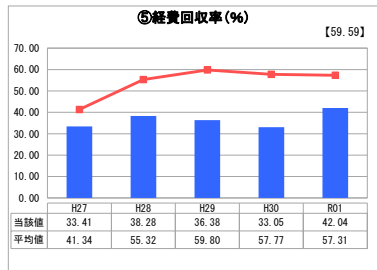
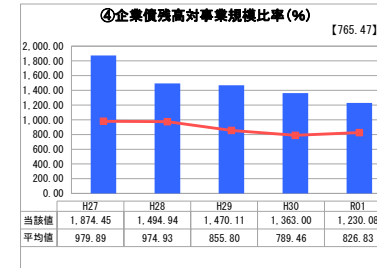
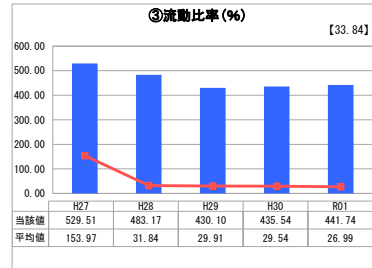
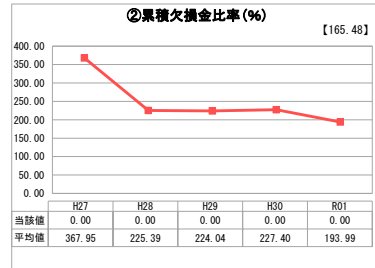
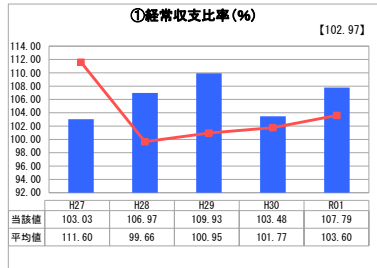
福井県 坂井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	79.34	0.33	92.14	2,530

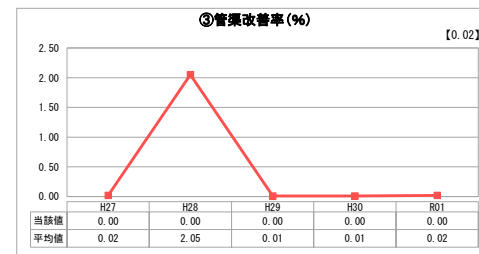
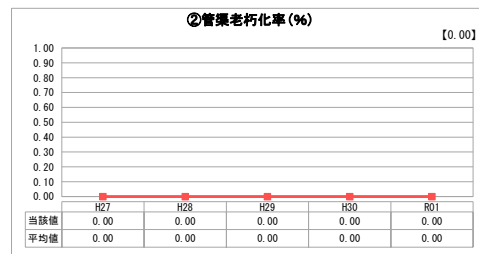
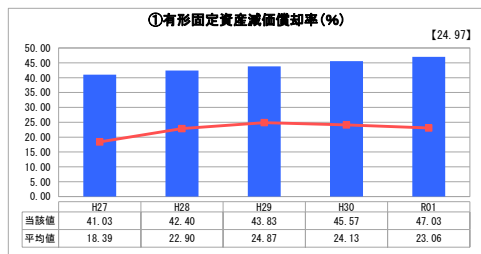
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,376	209.67	435.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
296	0.38	778.95

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は修繕費の減により前年度より増加し、100%以上を継続できているが、更なる費用削減など健全経営を続けていくための改善点を分析していく。また②累積欠損比率についても0%を維持できているためこれらを継続していきたい。③流動比率に関しては全国平均よりも大きく上回っており安定している。④企業債残高対事業規模比率は、全国平均よりも高い数値になっているが、企業債の借入の予定はないため企業債残高は減少していく。⑤経費回収率に関しては全国平均よりも低い数値となっている。使用料収入では汚水処理に係る費用を十分にまかなえず、一般会計からの繰入金によって収支の均衡を保っている。農業集落排水使用者は減少傾向にあり、それに伴って使用料収入も減少している。⑥全国平均値、類似団体値より数値は上回っている。地理的な部分も考慮して最適な処理方法を検討していく必要がある。⑦施設利用率に関して類似団体値よりも低くなっている。施設の過大スペックや遊休状態にならないように留意し、必要であればダウンサイジングも検討していく。⑧水洗化率については年々微増しているものの、新規接続はなく、高齢化、人口減少などが重なり、これ以上の新規接続は見込めないと思われるが接続推進には今後も力を入れる必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体よりも高い数値となっており、耐用年数に近い資産が多いことがわかる。更新に向けた財源の確保や経営改善などの方法を考える必要がある。②管渠老朽化率及び③管渠改善率はとも0%であり、耐用年数を超過した管渠はない。施設や管渠に関しては更新計画に基づいた計画的な更新が必要である。

全体総括

坂井市の農業集落排水事業は規模が小さく、人口減少や高齢化が年々進んでいることから新規接続は見込まれず、さらなる使用料の増加も見込まれない。そのため当事業は坂井市一般会計からの繰入金により経営均衡が保たれている。また、施設設備の更新も必要になってくるため財源の確保や必要経費の見直しも行っていきたい。類似団体などの経営努力や取り組みなどを参考にし、料金改定も視野に入れつつ、より安定した経営を目指したい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。